カラギーナン肯定派の学者の意見は

それはネズミの実験でしょ
人間にはあてはまるの？

そしてラットの腸内細菌を人間の腸内細菌におきかえる実験をして

人の腸内細菌を入れたラットは発ガンしない

と反論…

こういう学者がWHOで力を持っているのでカラギーナンは規制がかからず…

ドレッシング
ゼリー
化粧水
アイスクリーム
チューペット

世界中で、日本で、生協でも、給食でも増粘多糖類という表示で使用され続けています。

その背景にあるのは…

値段
ゼラチンは高いけどカラギーナンは安い

便いやすさ
寒天は途中で固まったりして食品工業では使いづらい

カラギーナンで生計をたてている人たちがいる
インドネシアでも日本の会社が養殖させています

経済的な問題です。

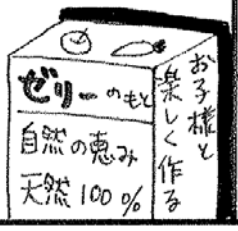
アイオワ大学のトバックマン氏は再反論しています。

ネズミだけじゃない
赤毛ザルの実験でもカラギーナンの量に比例して血便や潰瘍が多くなっている

おなかが…っ

安全を白、危険を黒とたとえれば、食品添加物は「灰色」では流通しています。

まっ黒になるまで規制はかかりません。



こんな宣伝にも気をつけて！
カラギーナンの粉末ゼリーのもと

ゼリーのもと
自然の恵み
天然100%
お子様と楽しく作る